

## 2. 交通問題のポイントは、交通弱者対策

○交通弱者:公共交通あるいはマイカーなどの交通手段の利用が困難な状況に置かれている人々、バスが撤退した地域で、免許証を返上した高齢者、そもそもマイカーを持たない人々、自転車・歩行が困難な人々

なかでも<買物難民>(買物弱者)といわれる人々が地域公共交通政策のポイントである。買い物難民に対する多様な方策・手段を地域特性に応じて、考える必要がある。

(ア) 配達システム(生協のパルシステムなど)、独自に配達システムを組んでいる店がある

(イ) 移動販売店、過疎になるほど採算はとれない

(ウ) 買物代行等:買物以外も含めて、何でもしますというビジネスが可能か

(エ) ドローンの配達はどこまで実現するか

○移動困難者:事業者のバスが撤退した地域での移動の確保

(ア) コミュニティバス

(イ) デマンドバス

(ウ) タクシー利用補助金

(エ) 住民によるマイクロバス運行

(オ) 特区制度を利用したマイカーによる白タク、乗合マイカー、ウーバー

## 提案

①普遍的に存在するマイカーを活用する。

②やがて自動運転技術が向上し、運転手のいない車が交通弱者を救済するだろう。

③採算の合う地域では、事業者が事業を継続できる。

④……………